

中王田池 (なかおうだいけ)

位置図



諸元

貯水量	206 千m ³
満水面積	8.7 ha
受益面積	12.0 ha
堤高	4.0 m
堤長	525 m

中王田池は、鴨部川水系地蔵川中流に位置し、さぬき市寒川町石田西付近で県道高松長尾大内線北側の三つの兄弟池の真ん中にある東王田池・新池（西王田池）に挟まれたため池です。

築造年はあきらかではありませんが、江戸時代中期の築造とされています。

中王田池のかんがい区域は、池の東側のサイフォンから天王地区へ、西側の取水ポンプからは将基地区へと配水して、^{かなどおりいけ}金通池・青木池を補助池として JR 高徳線をまたいで鴨部川堤まで通水されています。

本池の改修履歴としては、昭和8年度に堤体前法工事を実施しましたが、その後の台風による豪雨等で堤体の一部を損じ、樋管の漏水も確認されたため、翌62年度から平成3年度にかけて県営大規模ため池等整備事業でため池の全面改修を実施しました。

本池の水源は、約1キロ南に位置する花の山池西側の地蔵川から取水する一方、宮池からの余水を導水することにより確保していましたが、昭和50年に香川用水が通水してからは、農業用水の安定的な配水が可能となっています。

また、本池は県道を挟んで南北に分断されているため、県道を横断している3ヶ所のボックスカルバートは、ため池施設の中でも珍しい中王田池特有の風景となっています。



中王田池 (堤防)



3連のボックスカルバート